

# 高齢者・介護保険事業計画(進行管理対象事業)の進捗状況について

## 1 地域で支え合うしくみの充実

---

### ○ 高齢者への地域支援体制の充実

#### (1) 地域ケア会議の構築・運営

27年度は、全体で18回の地域包括ケア会議を開催し、474人が出席した。会議の運営に当たり、高齢者あんしん相談センターごとの地域特性や活動スタイルに沿って実施するとともに、既存の安心ネット連絡会を活用した。(実績報告 P.29 事業番号 1-1-2、1-3-5、2-3-13)

#### (2) ハートフルネットワーク事業の充実

27年度は、接骨院・整骨院、コンビニエンスストア等の登録があり、ハートフルネットワーク協力機関に新たに58団体が加入した。協力機関は、666団体に増え、29年度の目標を上回った。高齢者あんしん相談センターごとに協力機関との連絡会を年2回ずつ開催し、相互連携を強化した。(実績報告 P.29 事業番号 1-1-3)

### ○ 地域活動の担い手への支援

#### (1) シルバー人材センターの活動支援

シルバー人材センターに登録する会員数は、27年度で1,016人となり、そのうち就業率が80%を超えた。区報等による周知や社会参画に興味関心のある方を対象に研修を行い、シルバー人材センターへの関心拡大を図った。(実績報告 P.29 事業番号 1-2-4、3-6-4)

### ○ 相談体制・情報提供の充実

#### (1) 高齢者あんしん相談センターの機能強化

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域における高齢者福祉の拠点として必要な相談・支援等に的確に対応するための機能強化を図るため、27年度は、各高齢者あんしん相談センターに専任のセンター長を配置し、本所と分室の連携を図り、効果的に運営する体制を整備した。27年度の総相談数は、33,011件であった。(実績報告 P.30 1-3-1)

## 2 在宅サービスの充実

---

### ○ 介護保険サービス基盤の整備

#### (1) 高齢者施設の整備(介護老人保健施設)

文京福祉センター跡地に介護老人保健施設を整備するため、27年度は、公募により選定した整備・運営事業者による既存建物の地上部分の解体工事が終了し、地下解体工事に着手した。(実績報告 P.30 事業番号 2-2-1)

#### (2) 地域密着型サービスの整備

26年度に公募により整備・運営事業者を選定し、27年度に旧大原地域活動センター跡地に区内初の看護小規模多機能型居宅介護を1か所開設した。さらに、27年度は、旧向丘地

域活動センター跡地を活用した小規模多機能型居宅介護拠点について、公募により整備・運営事業者を選定した。(実績報告 P. 31 2-2-2、2-3-12)

## ○ 認知症支援策の充実

### (1) 認知症ケアパスの作成

認知症の方とその家族を地域で支えるため、認知症の方の状態に応じた適切なサービス提供の流れ(認知症ケアパス)をわかりやすく解説したパンフレットを作成するとともに、普及啓発や支援体制整備の検討を行った。(実績報告 P. 32 2-3-3)

### (2) 認知症徘徊対策の充実

事前に登録いただいた認知症の方が行方不明となった場合に、地域の協力者に対し捜索協力をメール配信し、早期発見・早期保護を図る事業を開始した。27年度は、メール配信のあった6人全員が無事に発見され、そのうち、2人については、メールを受信した方により発見された。また、行方不明となりそうな方を見かけたときの対応を想定した模擬訓練を実施した。(実績報告 P. 33 2-3-10)

## ○ 介護サービス事業者への支援

### (1) 介護サービス事業者連絡協議会

27年度は、介護支援専門員、訪問介護員、介護職員等の資質・実務能力の向上を図るため、介護サービス事業所の管理者を対象に働きやすい職場環境に資する研修会を実施した。さらに、研修会に参加できない事業者向けに研修資料をダウンロードできるようシステムを導入した。27年度の協議会加入数は、188事業者であった。(実績報告 P. 33 2-6-1)

## ○ 介護保険サービスの適正利用の促進

### (1) 事業者への実地指導・集団指導

事業者には、法令を遵守した運営ができるよう、制度周知に力を入れながら指導を実施した。加えて、施設には利用者の処遇、衛生管理、非常災害対策面を重視しながら指導を実施した。27年度は、いずれの指導も目標を上回る実績となった。(実績報告 P. 34 2-7-5)

## ○ 家族介護者への支援

### (1) 院内介助サービス

院内介助サービスについては、年々、新規利用者数が増加しており、27年度は、延べ1,183人に対し2,518.5時間の院内介助サービスを提供した。(実績報告 P. 34 2-8-3)

## ○ ひとり暮らし高齢者等への支援

### (1) 高齢者緊急連絡カードの整備

27年度は、65歳以上のひとり暮らしの方への全件調査と、80歳以上の方のみで構成されている世帯への補充調査を実施したことにより、新たに1,489人が高齢者緊急連絡カードを設置した。例年は前年度の調査以降、新たに65歳以上のひとり暮らしになった方と80歳以上の方のみで構成されている世帯を対象に補充調査を行っているが、4年に1回全件調査を行っているため、26年度より631人増加し、設置人数が6,387人となった。引き続き地域の関係機関と情報を共有し、緊急時に備える方針である。(実績報告 P. 35 事業番号 2-9-1)

### 3 健康で豊かな暮らしの実現

---

#### ○ 健康の維持・増進

##### (1) 健康診査・保健指導

27年度は、受診勧奨はがきを2度発送することにより受診勧奨に力を入れて取り組んだ。特定保健指導の実施については、27年度途中より委託した新規事業者と、勧奨方法等の検討を行い、実施率向上を図った。今後新規事業者による成果が加算される予定である。(実績報告 P. 35 3-1-2)

#### ○ 健康づくりの支援

##### (1) 高齢者いきいき入浴事業

区内浴場数が減少したにも関わらず、シニア入浴事業の利用延人数については、26年度から約1,500人増加し、27年度の達成率は、106%となった。引き続き閉じこもり予防や健康増進のために高齢者のコミュニティの形成を図る。ミニデイ事業は、介護予防・日常生活支援総合事業開始に伴う事業見直しの結果、27年度をもって事業終了とする。(実績報告 P. 36 3-2-2)

#### ○ 介護予防の推進

##### (1) プログラム事業の実施

27年度のプログラム事業への参加者は、26年度に比べ横ばいであったが、参加者からは身体機能改善等の感想が寄せられた。なお、プログラム事業への参加促進を図るための体験教室には25人の参加があった。(実績報告 P. 36 3-3-3)

##### (2) 介護予防教室事業実施

27年度は、事業改編に伴う教室数の減少があったが、「文の京介護予防体操」の地域会場を2部制にするなどの介護予防に参加する機会の増加を図り、参加人数は微減にとどまった。そのほか、介護予防講演会を3回実施し、介護予防の普及啓発を図った。(実績報告 P. 37 3-3-4)

#### ○ 高齢者の交流・社会参加

##### (1) 高齢者クラブ活動の支援

27年度の高齢者クラブ会員数は、4,079人だった。文京区高齢者クラブ連合会では参加者300人を超える加入促進のイベントを小ホールで開催した。また、活動の活性化を図るため、各高齢者クラブではPRチラシの作成・配布や懇親会、歌舞伎鑑賞会等様々な取組が行われた。(実績報告 P. 37 3-5-1)

### 4 高齢者の多様な住まい方の支援や取組

---

#### ○ 介護保険施設サービス等の充実

(1) 高齢者施設の整備（特別養護老人ホーム）

旧教育センター跡地に特別養護老人ホームを整備するため、27年度は、公募により選定した整備・運営事業者による埋蔵文化財発掘調査及び既存建物の解体工事が終了し、新規施設の建設工事に着手した。（実績報告 P. 38 4-3-3）

(2) 地域密着型サービス施設の整備（認知症高齢者グループホーム）

29年度までに旧向丘地域活動センター跡地に、小規模多機能型居宅介護施設を1か所整備する予定である。27年度は、公募により施設を整備する事業者を選定した。（実績報告 P. 38 4-3-4）